

2018年7月4日(水)

仙台の教育を語る会に参加して

主題「育ちを見守る」、副題「見つめよう子どものすがた、育てよう子どもの心」をテーマに、仙台市教育委員会、仙台市内幼稚園、小・中学校、仙台市PTA協議会の各代表者の実践に基づく話題提供がありました。

5名のお話に通ずるキーワードは「自己肯定感」でした。挑戦心や持続力、自己肯定感などの非認知的な力の有無が、学力にも大きく影響を与えているのでは。自己肯定感が低いと自信が持てず、消極的になってしまう。自己肯定感を高めることで、いじめを未然に防ぎ、失敗を恐れずに挑戦しようという気持ちを育むことができるのでは。など、それぞれの立場からの実践や事例から、自己肯定感についての考察がなされていました。

自己肯定感については、子に対する親の関わり方もいろいろ取り上げられており、保護者として気付きや考えさせられることが多く、自分の言動を振り返り、改めていこうと思いました。

PTA会長 高松 博子